

2016年5月2日

長岡京市長 中小路 健吾 様

日本共産党長岡京市議会議員団

団長 小原 明大

保育中の事故防止のための申し入れ

3月11日、東京都中央区の認可外保育施設「キッズスクウェア日本橋室町」において、うつ伏せの状態ですぐに午睡をしていた当時1歳2か月の男の子が死亡する事故が発生しました。

国の保育指針では、乳幼児のうつ伏せ寝は窒息死の危険性があり避けなければならないとされており、東京都も認可外保育施設で、子どもを仰向けで寝かせることや呼吸などをきめ細かく観察するなどの基準を定めています。しかし、男の子はうつ伏せの状態ですぐに2時間以上寝かされていて、呼吸の確認が十分に行われていなかったことや、異変の後、救命処置が直ぐに取られていなかったことが新聞報道されています。

東京都は「職員の人数は満たしているものの、安全管理態勢に問題があった」として、運営会社アルファコーポレーション（本社・京都市）に、改善を求める行政指導を行っています。これに対して、アルファコーポレーションは「男児が亡くなった原因はわからないが、寝かせ方や救命の対応が十分でなかったことに対して、改善策を講じている」とのコメントをしています。

本市駅前保育施設を運営している企業で発生した事故であり、看過できるものではありません。本市での保育中の事故を防止するため、駅前保育施設「キッズスクウェア長岡京」をはじめ、本市のすべての保育施設を対象として、下記のとおり申し入れるものです。

記

1. 基準どおりの保育体制が常時とられていることを確認し、遵守を徹底すること。
2. 「認可外保育施設指導監督基準」における、乳幼児突然死症候群の予防としての
 - ・睡眠中の児童の顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察すること。
 - ・乳幼児を寝かせる場合は、仰向けに寝かせること。
 - ・保育室では禁煙を厳守すること。の3点について、守られているか再度確認すること。乳幼児突然死症候群の予防について研修も実施し徹底すること。
3. 救急救命処置訓練を実施・徹底し、誰でも迅速な救命処置ができるようにすること。
4. 各保育施設での「ヒヤリハット」の事例を市として把握し、保育施設間での共有を図り事故防止につなげること。
5. 以上の事故防止対策がすべての保育施設で講じられるように、職員体制の充実強化や研修受講などにかかる経費等に、市として必要な支援をおこなうこと。

以上